



**動物資源
科学科**

動物生殖学研究室

**K E Y
W O R D**

人工授精/体外受精/配偶子(卵子・精子)凍結保存
産業動物/野生動物/伴侶動物/ヒト

**研 究
テ ー マ**

哺乳動物配偶子の新規凍結保存法の開発
家畜や野生動物に応用できる簡便な人工繁殖技術の開発

ミッション

あらゆる動物の繁殖生理を明らかにするとともに
人工繁殖技術を利用して繁殖効率を向上させる

動物生殖学では、次世代の個体が生産される仕組みを解明するとともに生殖周期を人為的に操作する技術を開発し動物生産の効率を向上させる研究を行っています。例えば、卵巣内に大量に存在する卵子のうち排卵されるのはほんの一部にすぎず、大部分は変性する運命にあります。これら変性する運命にある卵子を体外で発育培養し有効活用することができれば、優秀な家畜の効率的生産、ヒト不妊治療の効率化および絶滅が危惧される動物種の保護・増殖に役立つと考えられます。また、各種動物の精子や卵子を半永久的に低温保存できる技術の開発も家畜のみならずヒトや野生動物の繁殖効率を向上させるうえで不可欠です。さらに、特殊な機器を使用せずに簡単に実施でき、様々な動物種に応用可能な人工繁殖技術の開発を行っています。当研究室ではこれらのミッションを進めるため、学外の様々な施設と連携して研究を実施しています。一緒に学び・研究しましょう！